

夢づくり推進大賞について

各地域で積極的に展開されている協働の取組のうち、夢づくりプランの実現につながる先駆的な取組や「県民力の結集」の模範となる事例を顕彰し、各地域の夢づくりの協働の輪を一層広げていくため、平成16年度に「夢づくり推進大賞」を創設した。

平成20年度は、次の団体を受賞者として表彰式を実施する。

1 受賞団体

「平成20年度夢づくり推進大賞受賞団体一覧」のとおり

2 表彰日時及び場所

平成20年5月23日（金）10：00～10：45
県庁3階特別応接室

3 その他

「夢づくり推進大賞」は、地域住民、NPO、企業等が行政と協働して行った取組のうち、最も先駆的なものや他の模範となるものを、各部局、各県民局等の推薦を受け、夢づくりプラン推進本部会議を経て決定したものである。

平成20年度 夢づくり推進大賞受賞団体一覧

(50 順)

取組主体（所在地） 取 組 名	取 組 の 概 要
NGO団体イースト岡山女性ネットワーク 代 表：池上 淑恵 (岡山市) ＜青少年健全育成のための捨てられない総合的な啓発資材の開発＞	NGO 団体、高校生等が協働し、薬物、有害情報等に関し、高校生の視点に立った内容で、マンガ形式による効果的な（最後まで読まれる）啓発冊子を作成し、配布するなど、先駆的な取組により、青少年の健全育成に大きく貢献した。
大坪和西アグリカルチャー会 会 長：宮尾 正道 (美咲町) ＜みんなで守る棚田の景観＞	ボランティア（棚田保全支援隊）、地域住民が協働し、農地保全、景観維持活動を行うほか、都市住民の農業体験を行うことにより、棚田の保全と都市住民との交流を通じた地域活性化に大きく貢献した。
岡山県交通警察協助員会連合会 会 長：白神 琢也 (岡山市) ＜ボランティアによる交通安全活動＞	ボランティア、行政等が協働し、地域における交通安全意識の高揚や、街頭での交通安全指導を効果的に推進し、交通事故死者数の減少をはじめ安全で快適な交通環境の実現に大きく貢献した。
NPO法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミーズ 理事長：川崎 政宏 (岡山市) ＜地域における犯罪被害者等支援のための啓発活動＞	NPO、学校等が協働し、被害者への理解を深める広報活動、中高校生等を対象にした犯罪を起こさない規範意識の向上のための講話、犯罪被害者への相談等支援活動など他の模範となっており、被害者支援活動に大きく貢献した。
NPO法人かさおか島づくり海社 理事長：鳴本 浩二 (笠岡市) ＜いつまでも輝き続ける島を目指して＞	NPO、地域住民、行政等が協働し、特産品づくり、島の食材にこだわった「しまべん」の商品化、島外からの移住の促進など、島の魅力を生かした多様な取組は他の模範となり、地域住民の力を結集した地域づくりに大きく貢献した。
下津井地区安全パトロール隊 代 者：岩中 正則 (倉敷市) ＜地域ぐるみによる子どもや高齢者等の安全確保～向こう三軒両隣の再構築～＞	地域住民、学校等が協働し、登下校時のあいさつ運動を兼ねたパトロール、深夜の青少年指導パトロール、高齢者への声かけなどをを行うほか、他地域への活動普及にも積極的に取り組み、安全・安心なまちづくりに大きく貢献した。
高梁市青年経済協議会 会 長：平松 久幸 (高梁市) ＜「愛らぶ高梁～まち創り、人創り、夢創り」の推進＞	学校、地域住民等が協働し、地域に密着した手づくりイベントを開催することにより、地域の活性化と市民交流の推進に寄与し、また、学生との共同制作によるクリスマスイルミネーションの開催をはじめとした若者参加型のイベントにより地域の人づくりにも大きく貢献した。

取組主体（所在地） 取組名	取組の概要
デートDV防止プロジェクト・おかやま 代 者：川崎 政宏 (岡山市) <デートDV防止キャンペーン>	弁護士、医師、DV 被害者サポート等が協働し、デート DV 防止に関するパンフレットを作成し、高校生等に配布した他、女性への暴力防止を訴えるペーパーバルボンの募集などを行い、社会に問題提起した取組は先駆的で、その普及啓発に大きく貢献した。
にいみフォーラム 運営委員長：藤井 桂子 (新見市) <男女共同参画による地域づくりの推進>	地域住民、学校等が協働し、長年にわたり男女共同参画社会の実現に向けた研修会や交流会等を積極的に展開し、会員が属している団体、地域へ活動ルームをフィードバックするなど男女共同参画の推進に大きく貢献した。
蒜山イキイキ酪農協議会 会 長：井手紘一郎 (真庭市) <モオーっと元気に！酪農大作戦>	観光連盟、地域住民等が協働し、観光客の搾乳体験やジャージー牛が消費地や学校に出かけていくイベントなど新たな取組により観光の振興、乳製品の消費拡大等の推進に大きく貢献した。
NPO法人保育サポート「あい・あい」 代表理事：中島久美子 (総社市) <地域子育て応援ネット構築>	NPO、学校等が協働し、幼児から大学生までが参加し、地産地消の視点を取り入れた食育教育、保育士等の専門職による地域での子育て応援、メールによる子育て支援などを行い、地域ぐるみの子育て支援の気運醸成、子どもが健やかに育つ地域づくりに大きく貢献した。
みまさかローカル鉄道観光実行委員会 委員長：菅田 茂 (津山市) <ゆっくり、のんびり！みまさか鉄道の旅>	地域住民、観光協会等が協働し、地域の生活に密着したローカル線（因美線）に着目し、旧津山扇形機関庫等の見学会開催、昔懐かしい駅舎や沿線風景をゆっくり楽しむスローライフ列車の運行などにより、観光資源の創出、地域住民の力を結集した地域づくりに大きく貢献した。
両宮地域ぐるみ活動協議会 会 長：馬場 駿 (赤磐市) <史跡の里で伝統の食再発見>	地域住民、行政等が協働して、次代を担う子どもたちに農業体験と農産物調理の場を作り、農業と伝統の食への関心を高めることができ、地域の活性化に大きく貢献した。